

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「ある日の秋空」
【撮影】高橋 美佐子さん



本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区ホームページをご覧ください。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



野村 喜代美さん(文花在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第56回は、すみだと能登半島(前浜)の二拠点生活を送る野村 喜代美さんです。すみだでは飲食店「天真庵」(文花1-6-5)を営みながら、様々な教室を開催しています。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

1か月の2/3はすみだで生活し、主にお蕎麦と珈琲を提供する天真庵を夫と営んでいます。そして、営業時間外に様々な教室を開催しています。私が講師として行っているのは、味噌(作り)教室と梅(干し等を作る)教室。味噌教室は、店内で味噌を作る私の様子を見たお客さんが「私も作りたい」と言ったことがきっかけです。そして、その方に教えている様子を別のお客さんが見て「私も」とつな

がっていきました。現在では味噌教室だけで100人を超える生徒さんがいます。さらにその生徒さんの中で特技を活かした教室を開催する方が出るなどして、店内を活用した教室は30ほどになりました。心地良いつながりが今をつくっています。

1か月の1/3は能登半島の前浜で生活していますが、拠点を能登に置くことになったのも生徒さんがきっかけです。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

天真庵を始めたのは平成19年(2007年)です。それまではコンピューター関連の会社を営みながら区外に住み、自宅の一部をギャラリーとして、陶芸家や画家など様々な方に利用してもらっていました。その交流を通じて、すみだの土地柄や現在店舗となっている長屋を知ったんです。古いものが持つぬくもりが好きだったので、ここで第二の人生を始めることを決意しました。店舗の内装も、そこで知り合った若い方々が手掛けてくれました。いろいろとアイデアを出

しながら、面白がって造ってくれて嬉しかったですね。

5年前から始めた能登での生活は、交通や買物など都会のように便利ではありませんし、仕事もしていません。すみだと能登、全く異なる2つの生活が視野を広げてくれたと思います。また、便利な生活は時に「やる事」を増やし過ぎてしまうことがあると気がきました。現在は、「できる事」の中から「やる事」を選択して、気力・体力に合わせて楽しむことを大切にしています。

Q. 野村さんは、すみだのどんなところが好きですか？

すみだは古さがまだ残る部分があるので、それが新しいものへと変化していく様子が見られるのは面白いと思います。

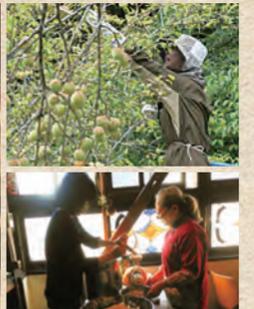
一方で変わらずに、気が合う方々と家族のようなお付き合いができるところが素敵だと思います。私にとって、お子さんは「孫」、若い方は「娘・

息子」です。「きよみさーん」と外でも声を掛けてくれる「孫」や送り迎えをしたことがある「孫」がいます。また、年に1回里帰りのように教室に来る方がいて、そんな「娘」から近況を聞くのも楽しいです。

様々な働き方や暮らしを経験しましたが、すみだはとても心地良く過ごせる場所です。



▲店内です。椅子は知人が作ってくれました。



▲【上】梅教室の梅は、能登産です。【下】私の教室は1対1。お話しするも楽しみです。

次回登場してくださるのは・・・

押上で日本酒や芸能などを広める活動をする竹下文庫さんです。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

資源循環の新たな仕組み「プラスチックのリサイクル」を推進

墨田区長

山本 亨

プラスチックは私たちの日常生活に欠かせない素材ですが、ごみとして処理することに伴う温室効果ガスの排出や海洋汚染など、様々な環境問題を引き起こしています。そこで、区では将来世代に負担をかけない「環境にやさしい持続可能な「すみだ」」を実現していくため、これまで「燃やすごみ」としていたプラスチックを、「資源物」として有効利用する取組を推進していきます。

昨年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を受け、10月から区内の一部地域で「プラスチックの日」を設けて資源回収を行うモデル事業を実施し、その検証結果を踏まえ、来年4月から区

内全域での本格実施に移行する予定です。モデル実施に当たっては、皆さんからのご意見・ご要望をしっかりと伺いながら本格実施に反映し、温室効果ガスの削減とごみの減量化を進めていきます。

また、6月9日には、区、アサヒ飲料株式会社、ペトリファインテクノロジー株式会社の三者で、「ペットボトルの水平リサイクルの実施に関する協定」を結び、区で回収したペットボトルをケミカルリサイクルという手法を用いて、再びペットボトルとして活用するリサイクル事業にも取り組んでいきます。

「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」を踏まえ、また「SDGs 未来都市」として、今

後も環境分野における取組を加速度的に推進していきますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



錦糸町パルコ「秋のサステナ祭2023」にて衣料品の回収(古着のリサイクル)等を実施

